



いじめ防止取り組み週間を終えて

～「いじめは絶対に許さない」というメッセージは永遠に!～

本校は、9月24日からの1週間は『いじめ防止取り組み週間』として「いじめを絶対に許さない!」ということについての啓発を行いました。特に行った取り組みは以下の通りです。

① いじめに関する新聞記事の読み聞かせ

毎朝、朝読の時間に放送室から全校生徒に向けて、朝日新聞に連載された新聞記事の読み聞かせを行いました。内容は、「いじめられている君へ」「いじている君へ」と言ったメッセージを芸能人等の著名人が述べたものでした。

たとえば、最終日は演出家の宮本亜門さんの以下のメッセージを読みました。



放送室から記事を読み上げる原紺先生

《いじている君へ》 嫌だって気持ち、カッコいい 演出家・宮本亜門さん

人はみんな、自分の中にいろんな感情を抱えて生きています。優しさ、冷たさ、強さ、弱さ。僕の中にも、良い部分と悪い部分とがいてまじっています。様々な気持ちのバランスがうまくいっていないとき、人はひどいことをしてしまいます。

小学校の5年か6年のときです。雨の日に、5人の仲の良い友達と歩いていたら、大きなトノサマガエルが道の真ん中にいました。

一人が傘でつついたら、ひっくり返ってしまいました。もう一人が足で軽くけつてみると、体をふくらませました。「おもしろいな」。次の子は少し強くけつた。トノサマガエルはボールのように大きくふくらんだ。友達は次々にカエルをけつたり、ころがしたり。最後には、僕もけりました。

本当は嫌だったんです。生き物をけりたくはなかった。でも、みんなに「やめよう」とは言えないし、「自分はやらない」とも言えなかった。嫌だな、という気持ちにふたをして、笑いながら一緒にけつた。あのときの嫌な気持ちは、今も消えていません。

ひどいことをしているとき、心から楽しいと思っている人はいません。君が、だれかをいじているとしたら、どこかで、そんな自分を嫌だなど思っていることでしょう。その気持ちにふたをして毎日をすごしているのだらうと思います。

君には、勇気をもって、そのふたをあけてほしい。ひどいことをするのは嫌だと感じている君は、とてもカッコいいと思います。君の中にいる、そういう自分を大事にして、とても力のいることだけれど、いじめをやめる努力をしてみてください。君には後悔してほしくないからです。



静かに放送を聴く2年生

② 部活単位で参加した朝のあいさつ運動

本校では保護者の方がクラス単位で毎朝、正門で皆さんの登校を温かく迎えてくださっています。今回は、この朝のあいさつ運動に部活単位で参加しました。数十人が正門前に並び、この期間は元気の良い、落中らしい朝を迎えました。

明るく気持ちのよいあいさつの中では、いじめはないと信じています。



さわやかなあいさつをかわすバスケットボール部

③ いじめアンケートの実施

毎月行う「いじめアンケート」をこの時期に行いました。このアンケートに書かれた内容は、担任をはじめ、本校の全教職員でチェックし、心配な内容については対応を考えます。

④ いじめに関する教材を扱った道徳の授業

毎週行う道徳の授業の中でいじめに関する教材を活用し、各学年でいじめについて考えました。

⑤ 「落合中学校生徒会 平和アピール」の振り返り

8月6日の平和集会で生徒会から「平和アピール」が提案されました。約2ヶ月たった今、この中に掲げられた10箇条のアピールがどこまで一人ひとりが意識しているか、作文にしました。

このように様々な取り組みを行いました。しかし、この『いじめ防止取り組み週間』は終わりましたが、集会で校長先生が言われた「落合中学校はいじめを許さない!」というメッセージは永遠に続くものです。それはみんなの願いであり、決意です。

台風の接近にともない、明日の登校時の安全が心配されます。昨日再配布した『非常災害時の登下校について』のプリントを見て判断をしてください。

☆午前6時：警報（暴風警報・大雨警報・洪水警報）が出ている → 自宅待機

（自宅を出る前に警報が出ている場合も自宅待機）

☆午前10時まで警報が解除 → 解除1時間後より授業予定（生徒の登校状況に合わせて授業開始）

★例）8時に解除→9時より学校が始まります

☆午前10時：警報が出ている → 臨時休校

